

# 第2回七夕まつりを開催!

▶ササ飾りに短冊を結ぶ子ども



「お金が貯金箱いっぱいになりますように」と書かれたマイラン村(アメリカ)の短冊(右)と「世界中が愛で溢れられますように」と書かれた宝鶏市(中国)の短冊



フラダンスの舞台発表



## 2000人が模擬店や舞台発表楽しむ

が行われました。 團路には、来場者が願いを書いた短冊を飾るコーナーのほか、本市と友好都市のマイラン村(アメリカ)と宝鶏市(中国)から届いた短冊約1000枚を飾りつけました。 夕暮れには、團路をライトアップ。柔らかな灯りがササ飾りを照らし、光の散歩道が出来上がりました。夕涼みに来た家族連れは、團路の幻想的な雰囲気を楽しみました。



Eボートの体験乗船

子どものころから日本の楽器に親しんでもらおうと「三線」を体験する講座が8月12日、川口コミュニティセンターで行われました。小学生約10人が参加。講師の松村立志さんに演奏の手ほどきを受けました。 三線は沖縄や奄美諸島で用いる弦楽器。形は三味線とほぼ同じですが、やや小さめ。胴に蛇の皮を張るところから、蛇皮線とも呼ばれています。 三線の演奏には、弦を押しさえる指使いが示された「工工

## 三線使って弾き語り

四」という楽譜を使います。子どもたちは、楽譜と松村さんの指の動きを食い入るように見つめ、メロディーを奏でました。 最後に全員で「チューリップ」「かえるの合唱」の弾き語り挑戦。弦を押しさえる左手の動きに苦戦しながらも、最後まで元気よく歌い上げました。 八幡小学校2年生の辻本りんかさんは「楽器が好きで参加しました。三線は難しいけど楽しかったです。三線はうれしそうに話しました。」



松村立志さんから三線の弾き方を教わる子どもたち

## まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介していきます。身近な話題や広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

舞台上がり合唱を楽しむ「まゆまる」と子どもたち



## 美しい歌声や演奏 観客魅了

### こどもサマーコンサート 京都フィルが11曲披露

親子で音楽に親しんでもらおうと「こどもサマーコンサート2010」が、8月1日に文化センターで開催されました。親子連れら約1200人が訪れ、迫力ある演奏を楽しみました。 やわた市民文化事業団が主催。京都フィルハーモニー室内合奏団を招き、運動会の曲でおなじみの「クシコスポスト」や「ボルカ「狩」」など計11曲を披露

しました。 親子連れは、空き缶を割りばしで叩く手作りドラムを使い「すずめがサンバ」を合唱。サプライズで国民文化祭のマスコットキャラクター「まゆまる」も登場し、ステージで子どもと共演。このほか「となりのトトロ」などのアニメソングを合唱するなど、家族で楽しい時間を過ごしました。

## 手作りマヨネーズおいしいね 市販との違い学ぶ

食の楽しさと大切さについて学ぼうと、橋本公民館で「マヨネーズ教室」が、8月20日に行われました。

食品会社の研究所員を講師に招き、親子連れ約40人は、マヨネーズの成分や市販と手作りの違いなどについて学びました。

マヨネーズは植物油と卵と酢が主な原材料で防腐剤を使わない調味料。親子連れは、卵黄を加えることで植物油と酢が混ざり合う「乳化」について学習。ほかに、マヨネーズをホットケーキに入れると、ふんわり焼

きあがる意外な活用法に驚いていました。その後、お待ちかねのマヨネーズ作りに挑戦です。まず、卵黄に酢と食塩を加え、かき混ぜます。そして少しずつ植物油を加え、かき混ぜて完成です。

市販と手作りマヨネーズを野菜につけて味比べ。「市販の方がすっぱいかな」と話しながら、おいしくいただきました。

橋本小学校3年生の古賀美宇さんは「どちらもおいしかった。ますますマヨネーズが好きになりました」と、大満足でした。



材料をかき混ぜ、マヨネーズを作る子どもたち